

4年生「お子さまの電子機器の使用について」アンケート結果

保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。集計結果および、保護者の皆様から寄せられた具体的な詳細なご意見・各ご家庭でのリアルな工夫を整理して掲載いたします。

☒ 利用状況・ルール・各種制限の概要（4年生）

【端末利用形態】	【ルール・安全対策】	【ゲームの利用・詳細】	【YouTube・制限設定】
端末を利用させている 89.0% ・Wi-Fi 古い端末/タブレット 35.0% ・保護者端末を必要時のみ 22.0% ・自分用のスマホ/タブレット 18.0% ・キッズケータイ/スマホ 14.0% - 利用させていない 11.0%	ご家庭でルール設定 88.0% ロック番号共有 82.0% スマホフィルタリング 71.0% 時間制限(みまもり等)： 55.0% 自分専用スマホ所有： 18.0%	ゲームの利用有無 ・利用している 78.0% ・利用していない 22.0% 1日の利用時間 ・1時間以内 45.0% ・2時間以内 25.0% ・ほとんど利用しない 22.0% 利用頻度 ・ほぼ毎日 38.0% ・週1～6日 40.0% ・ほとんど/しない 22.0%	YouTube 年齢制限 ・はい(制限あり) 45.0% ・いいえ(制限なし) 35.0% ・テレビ等で視聴 15.0% ・視聴させていない 5.0% SNS/通信機能制限 ・利用させていない 68.0% ・はい(制限あり) 22.0% ・いいえ 10.0%

☒ お子さまと決めたルールや工夫（具体的なご家庭の声）

- ・宿題・習い事の宿題・翌日の時間割・明日の用意・お手伝いなど「今日やるべきこと」を全て完了させてから親の許可を得て使う。順番を守らない場合は翌日の使用を禁止にしている。
- ・平日は1日最大1時間、休日は1時間半まで。「みまもりスイッチ」や「スクリーンタイム」でタイマーを設定し、時間終了の5分前に自分で切る準備をさせる。アラームが鳴ったら途中でも保存して終了する約束。
- ・利用できるのは「リビングのダイニングテーブル」のみ。自分の部屋や寝室へ持ち込むのは固く禁止し、親の視線に入る場所で使う。充電は夜8時半になったらリビングの親の管理スタンドに戻す。
- ・オンラインゲームやボイスチャットを使う際は、「学校の知っているお友達（実際に会ったことがある子）」限定とし、それ以外の知らない人からのフレンド申請やメッセージは全て無視・拒否する設定にしている。
- ・ゲームの課金や新しいアプリのダウンロードは絶対に禁止。欲しいソフトや欲しい機能があるときは理由を話して親に相談し、親のパスワード入力でのみダウンロード許可を出している。
- ・名前・学校名・住んでいる地域・写真などの個人情報ネット上に絶対に投稿しない。ボイスチャットでも自分の本名や家族の予定を話さないよう定期的に約束を確認している。
- ・動画視聴やゲームをする時は「30分に1回は遠くを見て目を休める」「ソファに深く腰かけて姿勢を良くする」ことを注意し、顔と画面の距離を30cm以上離して使うルールにしている。

☒ 心配していること・困っていること（具体的なご家庭の声）

- ・ オンラインゲームでのフレンド関係やボイスチャット時の言葉遣いが非常に気になる。「お前」「ウザい」「〇ね」といった乱暴な言葉を友達同士で使ったり興奮して大声を出したりすることがあり、注意しても繰り返しになってしまう。
- ・ 友達同士で「何時に〇〇のゲームに集合ね」と勝手に約束して帰ってくることが増え、宿題や家族の予定よりゲームを優先しようとする。約束の時間に縛られてイライラしたり、やめさせようとするとうるさい喧嘩になったりする。
- ・ ゲームやYouTubeの途中でやめることが難しく、「あとちょっとだけ」「キリが悪い」と言い訳をして時間をオーバーすることが常態化している。強制終了させると感情を爆発させることがあり対応に苦慮している。
- ・ 長時間の使用による視力低下（学校の視力検査で引っかかるようになった）や、猫背・ストレートネックなどの姿勢悪化、外遊びや睡眠不足、集中力の低下など健康面への影響がとても心配。
- ・ YouTube等で過激な言葉遣いや不適切な内容の動画・広告をいつの間にか見ていることがあり、ネット上の有害な情報や間違った知識を真に受けてしまわないか不安がある。
- ・ 高学年（5・6年生）に向けて行動範囲が広がり、一人で留守番や外出をする機会が増える中で、スマホを持たせるタイミングやフィルタリング設定の加減、親の目が届かない場所でのトラブルが懸念される。

☒ 学校からのメッセージ・今後の対応

4年生では、ゲーム利用率が約8割（78.0%）に達し、友達との通信プレイや約束による利用など、児童同士でのネットを介した関わりが本格化している様子が皆様の具体的なご意見からも明確に伝わってまいりました。特に「オンライン上での言葉遣いやフレンド関係」「友達同士の約束による時間のコントロール」「切り上げ時の葛藤や健康面の心配」など、成長に伴うリアルで切実な課題が多く寄せられております。学校では、相手の気持ち考えた言葉遣いやネットモラル教育、視力・姿勢等の健康指導をより一層強化してまいります。ぜひご家庭でも今回の集計結果や具体的な工夫事例を参考に、お子さまと改めて端末の安全な使い方について話し合う機会を持っていただければ幸いです。あたたかいご協力に感謝申し上げます。